

「令和6年 能登半島地震」における
国立病院機構の支援活動について

令和6年3月28日
＜1月1日～3月27日 活動分＞



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

国立病院機構（NHO）の活動状況のまとめ（1月1日～3月27日）

【被災された患者等の受入れ】

震源地に近い地域に所在する七尾病院〔七尾市〕では、病院や職員が被災しながらも入院診療を継続し、被災患者を受け入れています。（入院患者数 53人、延べ入院患者数 1,375人）

また、金沢医療センター〔金沢市〕でも多数の患者を受入れており、このため全国のNHO病院から医師及び看護師を派遣し、休棟していた病棟（42床）を1月10日に開棟しました。（入院患者数 131人、延べ入院患者数 4,695人）

【NHO医療班による避難所支援】〔2月18日 活動終了〕

NHOの医療班が1月5日から活動を開始し、穴水町や七尾市などの避難所支援を行いました。1月7日からは輪島市の避難所支援の中心的な役割を担い、自衛隊等他の機関と連携しながら活動してまいりました。地域の医療需要や受療環境等の改善状況を踏まえ、石川県が判断し、2月18日をもって活動終了となりました。（延べ活動班数 72班、延べ活動日数 214班・日、実活動人数 363人、延べ活動人数 1,078人・日）

【DMAT・DPATへの参加】〔DMAT:3月14日、DPAT:2月12日 活動終了〕

石川県内においてNHO病院のチームが、DMAT（延べ活動日数 508チーム・日）、DPAT（延べ活動日数 42チーム・日）として参加してまいりました。

【広域看護師派遣への対応】〔3月21日 活動終了〕

厚生労働省の要請を受け、広域看護師派遣（延べ活動日数 224人・日）を市立輪島病院に派遣してまいりました。

目次

1. 国立病院機構 (NHO) 全体の動き	3
2. 国立病院機構の活動状況	
① NHO医療班の活動	4
② 被災された患者等の受入れ	9
③ 国の災害救助活動への参加	
DMAT (災害派遣医療チーム)	10
DPAT (災害派遣精神医療チーム)	11
広域看護師派遣	12
④ 災害対策本部の設置	13
⑤ 現地災害対策本部の設置運営	14
⑥ 活動状況 (参考)	15



I. 国立病院機構 (NHO) 全体の動き

国立病院機構では、地震発生直後よりDMAT、DPATによる災害急性期の医療活動を展開するとともに、切れ目のない医療活動のために、1月5日から医療班を継続的に派遣し、被災地における診療を行ってまいりました。

- 1月1日 災害対策本部を設置
(国立病院機構本部内 [東京都目黒区])
厚生労働省DMAT事務局が活動開始
(厚生労働省からの受託事業)
- 1月2日 NHO病院がDMATに参加開始 [3月14日 活動終了]
- 1月4日 現地災害対策本部を設置
(国立病院機構金沢医療センター内 [石川県金沢市])
- 1月5日 NHO医療班が活動開始 [2月18日 活動終了]
NHO病院がDPATに参加開始 [2月12日 活動終了]
- 1月12日 NHO病院が広域看護師派遣(厚生労働省から要請)に参加開始
[3月21日 活動終了]

2. 国立病院機構の活動状況

① NHO医療班の活動 [2月18日 活動終了]

医療機関が大きな被害を負った地域では、長期的な医療班の支援が求められます。国立病院機構は全国ネットワークにより継続的な医療班の派遣が可能です。

国立病院機構の医療班は、1月5日から活動を開始し、穴水町や七尾市などの避難所支援を行いました。1月7日からは被害の大きかった輪島市の避難所支援の中心的な役割を担い、自衛隊等他の機関と連携しながら活動してまいりました。

- 基本構成 : 1班5名(医師1名、薬剤師1名、看護師2名、事務職1名)
- 活動体制 : 1/5~2/5 6班を編成して活動(2/4・5は1班ずつ減)
2/6~2/18 3班を編成して活動(2/17・18は1班ずつ減)
- 主な活動場所 : 穴水町、七尾市、能登町、志賀町内の避難所(1/5~8)
輪島市内の避難所 (1/7~2/18)
市立輪島病院(診療業務支援) (1/19~2/1)
- 派遣状況 : 延べ活動班数 72班、延べ活動日数 214班・日、
実活動人数 363人、延べ活動人数 1,078人・日
(移動日は含めておりません)

2. 国立病院機構の活動状況



NHO医療班には、
薬剤師が同行いたしました

主に避難所を回り、被災者の診療や健康状態の確認等を行ってまいりました

2. 国立病院機構の活動状況



6 点在する避難所への移動可能経路を確認し、診療資材等を詰め込んだ車両で向かいました
切れ目のない医療活動により、現地で必要となる物資を次発の班が随時搬入できることも強みの1つです

2. 国立病院機構の活動状況



7 孤立している避難所には自衛隊車両に同乗し、
車両が入れない場所には、医師、看護師等が自ら診療資材等を担いで向かいました

2. 国立病院機構の活動状況



活動拠点における活動方針の検討等

② 被災された患者等の受入れ

七尾病院 [七尾市]

- ・震源地に近い地域に所在する当病院は、病院や職員が被災しながらも、入院診療を継続しています。
- ・被災患者を受け入れています。(入院患者数 53人、延べ入院患者数 1,375人)

金沢医療センター [金沢市]

- ・被災患者を受け入れています。(入院患者数 131人、延べ入院患者数 4,695人)
- ・被災した介護老人保健施設等の入所者(透析患者、寝たきり状態など)を受け入れています。
- ・患者受入れのために、全国のNHO病院から医師及び看護師を派遣し、休棟していた病棟(42床)を開棟しました。(1月10日)

金沢医療センターへの医師派遣 延べ活動日数 14人・日

// 看護師派遣延べ活動日数 838人・日

(移動日は含めておりません)

その他のNHO病院

- ・石川病院[加賀市]、医王病院[金沢市]、名古屋医療センターにおいても被災患者を受け入れています。

2. 国立病院機構の活動状況

③ 国の災害救助活動への参加

DMAT（災害派遣医療チーム） [3月14日 活動終了]

自然災害や航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームが活動してまいりました。

国立病院機構では、DMATに複数のチームを参加させてまいりました。

基本構成 : 1チーム4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）

活動開始 : 1月2日

主な活動場所 : 被災地域の自治体、病院等

派遣状況 : 延べ活動日数 508チーム・日
(EMISの情報を基に、石川県内への派遣のみを集計)

2. 国立病院機構の活動状況

③ 国の災害救助活動への参加

DPAT（災害派遣精神医療チーム） [2月12日 活動終了]

自然災害や航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的チームが活動してまいりました。

国立病院機構では、DPATに複数のチームを参加させてまいりました。

なお、DPAT事務局からの派遣要請は2月12日に終了していますが、石川県からの要請によるDPAT派遣は続いています。

基本構成 : 1チーム3名以上
(精神科医師1名、看護師1名、業務調整員1名)

活動開始 : 1月5日

主な活動場所 : 輪島市内、穴水町内

派遣状況 : 延べ活動日数 42チーム・日 [DPAT事務局からの派遣要請分]
(EMISの情報を基に、石川県内への派遣のみを集計)

2. 国立病院機構の活動状況

③ 国の災害救助活動への参加

広域看護師派遣 [3月21日 活動終了]

厚生労働省の要請を受け、被災地の医療機関に看護師を派遣してまいりました。

派遣人数 : 4名/日
活動開始 : 1月12日
主な活動場所 : 市立輪島病院
派遣状況 : 延べ活動日数 224人・日 (移動日は含めておりません)

市立輪島病院への派遣

派遣看護師は、外来、病棟に分かれて救急外来・発熱外来では、外傷・腹痛や感染症等の患者の診療の補助を行ってまいりました



2. 国立病院機構の活動状況

④ 災害対策本部の設置

震災発生後、速やかに職員が本部に参集し、被災地域の医療救護支援に関する総合調整を行ってまいりました。

- ・被災患者の受入れに関する事
- ・医療班の活動調整に関する事
- ・被災都道府県又は政府等からの医療救護支援要請の対応に関する事
- ・被災したNHO病院の救助に関する事
- ・非被災のNHO病院から被災したNHO病院への職員派遣に関する事
- ・機構本部職員の現地災害対策本部への派遣に関する事
- ・国が設置する非常災害対策本部及び厚生労働省との連絡調整に関する事

設置場所：国立病院機構本部内 [東京都目黒区]

設置日：1月1日 16:55

2. 国立病院機構の活動状況

⑤ 現地災害対策本部の設置運営

被災地での情報収集及び地方自治体等との連絡調整や医療物資等の調整を行い、医療班の活動を支援してまいりました。

また、切れ目のない医療活動を行うため、災害対策本部（NHO本部）等と人的・物的支援の調整等を行ってまいりました。

設置場所：国立病院機構金沢医療センター内 [石川県金沢市]

設置日：1月4日

全国のNHO病院から到着した医療班のメンバーに派遣先の状況や対応方針等を説明



2. 国立病院機構の活動状況

⑥ 活動状況(参考)

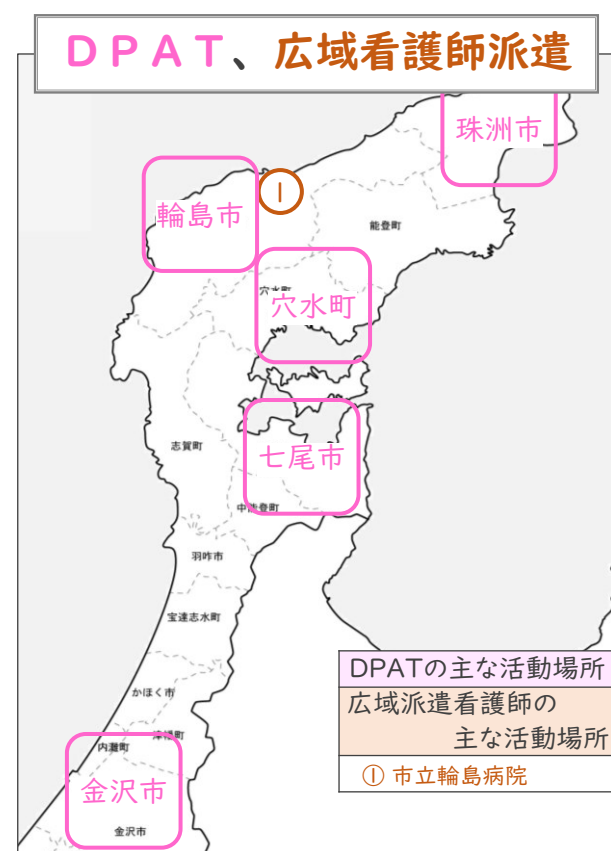
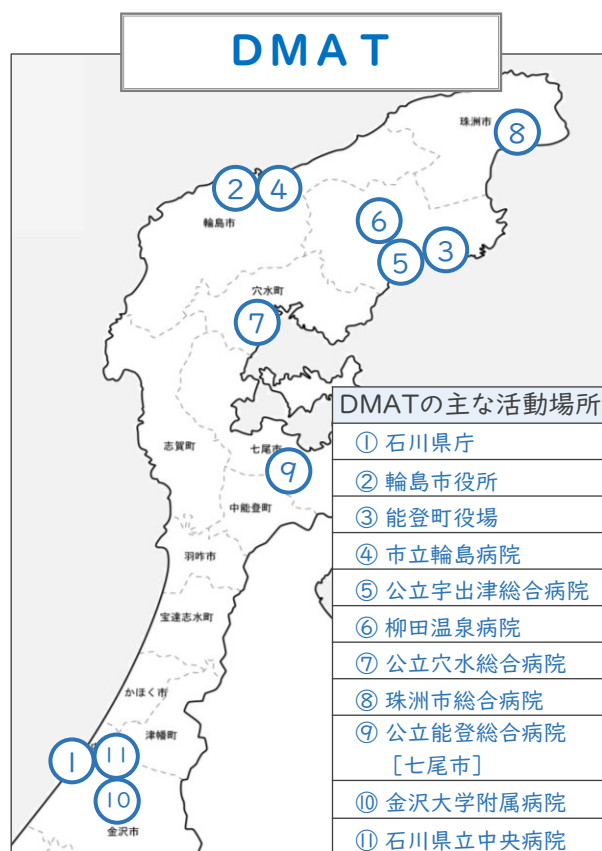
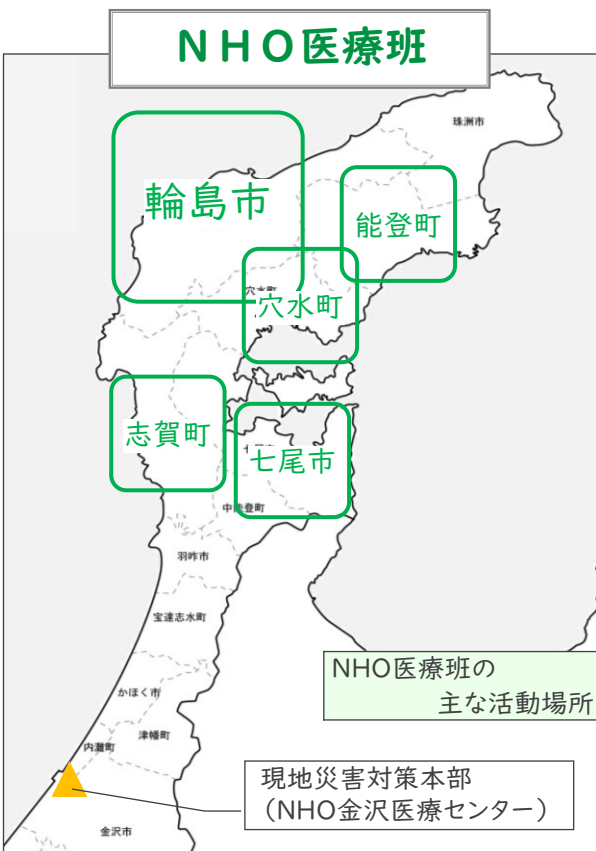
	延べ活動日数	現地での活動期間
国立病院機構の取組		
① NHO医療班	班・日	214
② NHO金沢医療センターへの派遣(42床病棟を開棟) 医師派遣 看護師派遣	人・日 人・日	14 838
国の災害救助活動への参加		
③ DMAT	チーム・日	508
③ DPAT	チーム・日	42
③ 広域看護師派遣	人・日	224

< 基本構成 > NHO医療班 : 1班5名 (医師1名、薬剤師1名、看護師2名、事務職1名)
 DMAT : 1チーム4名 (医師1名、看護師2名、業務調整員1名)
 DPAT : 1チーム3名以上 (精神科医師1名、看護師1名、業務調整員1名)
 広域看護師派遣 : 4名/日 (看護師4名)

※ 延べ活動日数(①、②、③広域看護師派遣)に、移動日は含めておりません。

※ ③DMAT、③DPATは、EMISの情報を基に石川県内への派遣のみを集計しています。

2. 国立病院機構の活動状況 [1/1~3/27 活動分]



2. 国立病院機構の活動状況 [1/1~3/27 活動分]

派遣元病院	① NHO 医療班	② 金沢医療センター への職員派遣	③ DMAT	③ DPAT	③ 広域 看護師派遣	派遣元病院	① NHO 医療班	② 金沢医療センター への職員派遣	③ DMAT	③ DPAT	③ 広域 看護師派遣
北海道がんセンター	●					霞ヶ浦医療センター	●				
北海道医療センター	●	●	●			茨城東病院		●			
函館病院					●	栃木医療センター	●		●		
弘前総合医療センター					●	宇都宮病院		●			
八戸病院					●	高崎総合医療センター	●		●		●
青森病院					●	渋川医療センター	●		●		
盛岡医療センター	●					埼玉病院	●	●	●		
花巻病院					●	東埼玉病院	●				
仙台医療センター	●	●	●		●	千葉医療センター	●				
仙台西多賀病院	●	●				千葉東病院	●				
宮城病院					●	下志津病院	●				
あきた病院					●	東京医療センター	●		●		●
山形病院	●					災害医療センター	●	●	●		●
福島病院					●	東京病院	●	●	●		
いわき病院					●	村山医療センター	●	●			
水戸医療センター	●	●	●			横浜医療センター	●		●		

2. 国立病院機構の活動状況 [1/1~3/27 活動分]

派遣元病院	① NHO 医療班	② 金沢医療センター への職員派遣	③ DMAT	③ DPAT	③ 広域 看護師派遣	派遣元病院	① NHO 医療班	② 金沢医療センター への職員派遣	③ DMAT	③ DPAT	③ 広域 看護師派遣
箱根病院		●				静岡医療センター	●	●	●		
相模原病院	●					名古屋医療センター	●	●	●		
神奈川病院	●					東名古屋病院	●				
西新潟中央病院	●					東尾張病院		●			
さいがた医療センター				●		豊橋医療センター	●	●			
甲府病院		●				三重病院	●	●			
東長野病院		●				鈴鹿病院		●			
まつもと医療センター	●					三重中央医療センター			●		
信州上田医療センター			●			榊原病院		●		●	
小諸高原病院				●		敦賀医療センター			●		
富山病院	●					あわら病院		●			
金沢医療センター			●	●		東近江総合医療センター	●				
医王病院	●					紫香楽病院		●			●
長良医療センター	●	●				京都医療センター		●	●		
静岡てんかん・神経医療センター	●	●				宇多野病院		●			
天竜病院	●	●				舞鶴医療センター	●				

2. 国立病院機構の活動状況 [1/1~3/27 活動分]

派遣元病院	① NHO 医療班	② 金沢医療センター への職員派遣	③ DMAT	③ DPAT	③ 広域 看護師派遣	派遣元病院	① NHO 医療班	② 金沢医療センター への職員派遣	③ DMAT	③ DPAT	③ 広域 看護師派遣
大阪医療センター	●		●			呉医療センター	●				●
近畿中央呼吸器センター	●				●	福山医療センター	●				●
大阪刀根山医療センター		●			●	広島西医療センター	●	●			
大阪南医療センター	●					東広島医療センター			●		●
神戸医療センター	●					賀茂精神医療センター				●	●
姫路医療センター	●		●		●	関門医療センター	●		●		●
兵庫あおの病院		●				山口宇部医療センター					●
奈良医療センター					●	岩国医療センター	●		●		●
やまと精神医療センター		●				高松医療センター		●			
南和歌山医療センター	●		●			四国こどもとおとなの医療センター		●	●		
鳥取医療センター		●			●	四国がんセンター					●
米子医療センター	●				●	愛媛医療センター	●				
松江医療センター		●				高知病院	●		●		
浜田医療センター	●		●			小倉医療センター					●
岡山医療センター	●		●		●	九州がんセンター	●				●
南岡山医療センター		●				九州医療センター	●		●		●

2. 国立病院機構の活動状況 [1/1~3/27 活動分]

派遣元病院	① N H O 医 療 班	② 金 沢 医 療 セ ン タ ー へ の 職 員 派 遣	③ D M A T	③ D P A T	③ 広 域 看 護 師 派 遣
福岡病院		●			
福岡東医療センター	●		●		●
佐賀病院	●				
肥前精神医療センター				●	
東佐賀病院		●			
嬉野医療センター	●				●
長崎医療センター	●		●		●
熊本医療センター	●				●
熊本南病院		●			
熊本再春医療センター		●			●
大分医療センター					●
別府医療センター	●				
宮崎東病院		●			
都城医療センター	●				
鹿児島医療センター	●				●
南九州病院		●			
琉球病院				●	

【 本件に関する問い合わせ先 】

独立行政法人国立病院機構

本部 総務部広報文書課 山田、舟木

電話 03-5712-5062

メール 700-koho@mail.hosp.go.jp